

掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター



きんもくせい

病院だより

vol.88

令和2年
9月号

診療科から

患者さま一人ひとりにあった治療を！

不整脈とカテーテルアブレーション



▲カテーテルによる治療のようす

診療科から

不整脈とカテーテルアブレーションのお話

循環器内科診療部長 兼 心血管内治療センター副センター長

くればやし のぶたけ
紅林 伸丈 医師

心臓は全身に血液を送る臓器です。一回の拍動で70mlの血液を拍出し、一日あたり10万回の拍動を繰り返すことから、一日で7,000Lもの血液を全身に送ります。心臓の筋肉には電気が流れる回路があり、そこに定期的に微量な電気が流れることで拍動を繰り返します。この電気の流れに異常が生じ、心拍のリズムが乱れることを不整脈と言います。

不整脈の種類

不整脈は、《脈が遅くなる徐脈性不整脈》、《脈が速くなる頻脈性不整脈》、に分類されます。《徐脈性不整脈》はペースメーカーによる治療が主体となりますが、今回主にお話させていただく《頻脈性不整脈》の治療には、①内服薬による予防・抑制、②カテーテルアブレーションによる根治、が挙げられます。



頻脈性不整脈の治療

内服薬の最大の利点は『簡単』なことです。薬で不整脈を抑制する治療の為、生涯に渡り内服が必要です。一方、カテーテルアブレーションは『根治』を目指す治療で、不整脈を治癒できる可能性があります。稀には合併症を生じることがあるため、患者さまに合った治療方針を選択することが大切です。

カテーテルアブレーション

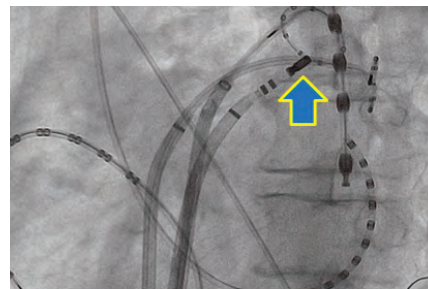
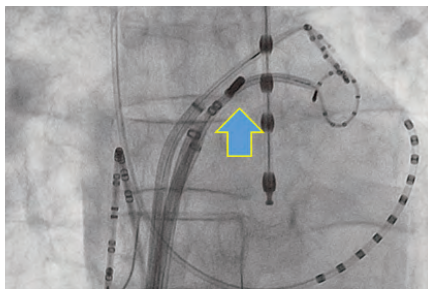
カテーテルと言われる直径1.5mmくらいの太さの電線を、頸部(首)やそけい部(足の付け根)の血管に入れ、心臓まで進め、不整脈を起こす心臓の筋肉の一部を高周波で焼く治療です。『焼く』と言っても、50℃程度の温度で低温やけどを起こすようなイメージです。麻酔は、局所麻酔/全身麻酔があり、不整脈の種類によって使い分けますが、治療中の痛みはほとんどありません。カテーテルの挿入部にごく小さな傷跡が残りますが、近くで見てもわからない程度です。入院期間は4日～5日で、退院した日から通常の生活に戻ることができます。

20年以上前に始まった治療ですが、この10年の医療機器と技術の進歩は目覚ましく、心臓を3Dで表示しながら治療が行えるなど、より安全確実に治療が行えるようになり、治療件数が急激に増加しました。

対象となる頻脈性不整脈

カテーテルアブレーションで根治が狙える不整脈はたくさんありますが、近年、増加しているものとして《心房細動》が挙げられます。70歳代になると10人に1人が発症していると言われる一般的な病気です。心房細動は放置することで重篤な脳梗塞や心不全を発症する恐れがあり、カテーテルアブレーションによりそれを予防する効果が期待されます。

現在、当院では、一年で170件くらいの治療を行っていますが、そのうちの7割が心房細動に対する治療です。



心房細動に対するカテーテルアブレーション(左房～左肺静脈移行部を焼灼)

正しく怖がることが大切です

治療を必要としない不整脈も少なくありません。不整脈を疑う症状(胸がドキドキする、脈が飛び感じがある)を自覚した場合は、まずは病院で相談してみましょう。

精神的/肉体的なストレスがかかる状況では不整脈が生じやすくなるので、十分な睡眠を確保し、過度のアルコール摂取を控える、など、規則正しい生活を心がけましょう。

第30回医療市民講座～がん講習会～を開催しました ーwithコロナの時代に沿った開催方法を模索ー

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため今年の2月から休止していた医療市民講座でしたが、およそ5か月ぶりとなる7月18日（土）に当院で開催しました。

感染予防策として、今回の講座から申込制とし、来場された方にはマスクの着用、筆記用具の持参、手指消毒、検温にご協力いただきました。また、3密を避けるために、定員を以前の半分である100人にさせていただいたほか、座席の間隔をあける等の措置を講じました。

当院の川合亮佑医師（外科部長）が「がんのおはなし～がん発生から腸活まで～」、細野功医師（消化器内科部長）が「上部消化管の内視鏡治療」、中川穂波看護師（がん相談支援センター長）が「がん相談支援センターのご紹介」、宮地正彦医師（企業長兼院長）が「新型コロナウイルス感染症～当院の対応と対策～」をテーマにそれぞれ講演を行いました。

がんを予防するためには、禁煙・食事・運動・睡眠が大切です。がんにならないことが重要ですが、がんになったとしても早期治療ができれば完治できる可能性が高まります。しかし、早期がんは症状がほとんど出ません。積極的に定期的ながん検診を受診し、がんの早期発見に努めましょう。

また、当院にはがんに関する疑問や不安、悩みを相談できる「がん相談支援センター」もあります。様々な職種のスタッフが連携し、皆さまの心と体に寄り添いますので、お気軽にご相談ください。

今回は定員の100人を超えるお申込みをいただき、ありがとうございました。

次回の講座は9月26日（土）です。（※詳細は裏面のお知らせをご覧ください）皆さまが安心してご参加いただけるよう引き続き感染予防策に努めてまいります。多くの方のご参加をお待ちしています。



▲座席間のスペースをしっかりと確保



▲外来サテライト会場を設置

看護部通信

院内へのウイルス持ち込みは絶対に許さない 救急病棟ではさまざまな感染対策を行っています

救急病棟（ECU）は、救急車搬送や救急外来を受診され治療や検査が必要な患者さまが入院する病棟です。すべての診療科の患者さまを受け入れるため、対象者は乳幼児から高齢者まで様々です。

当院は、感染症指定医療機関であり、救急の患者さまに加え様々な感染症患者さまの受け入れも行っています。私たちは、感染マニュアルを作成・順守し、院内感染を起こさないように、さまざまな取り組みを行っています。

関係職員には防護具の着脱テストを実施し、正しく着脱できるように個々のスキルを高めています。また、他の患者さまへの感染防止策としては、担当する患者さまの固定化や、こまめな手指消毒の実施や必要時に個人防護具を使用するほか、各勤務交代時にベッド周りなど清潔に整えることを徹底的に行っています。

ECUには感染症管理のできる陰圧個室が2床あり、中等症以上の感染症患者さまも安全に受け入れることができます。

現在、新型コロナウイルスによる院内感染を防ぐため、面会制限など大変ご迷惑をおかけしていますが、患者さまが安心して入院・治療できる環境を守るための措置とご理解をいただきたく存じます。引き続き徹底した感染対策に努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



第31回医療市民講座のご案内

皆さまの安心を第一に考え、感染防止対策を講じたうえで細心の注意を払い開催いたします。

定員150名（予約制・先着順）

入場料無料

- ◆日 時 9月26日（土）午前10時～正午（受付9時30分～）
- ◆場 所 袋井市月見の里学遊館うさぎホール（袋井市上山梨4-3-7）
- ◆演 題
 - ①「心筋梗塞・狭心症の予防と最新治療～怖いのは新型コロナウイルスだけではない～」
講師：森川 修司 医師（副医務局長 兼 循環器内科統括診療部長）
 - ②「食道疾患について～食道がんを中心に～」
講師：宮地 正彦 医師（企業長兼院長）
 - ③「新型コロナウイルス感染症～当院の対応と対策～」
講師：宮地 正彦 医師（企業長兼院長）
- ◆申込み 9月23日（水）までにホームページ専用フォーム、または問合せ先へ電話、FAXのいずれかにて。
申込用紙を専用BOXにお入れいただいても申し込みできます。
申込用紙は院内ほか、市役所等で配布しています。
- ◆問合せ 経営戦略室 電話：0537-21-5555(代) FAX：0537-28-8971(代)



▲前回の医療市民講座のようす



詳しくは
病院ホームページを
ご確認ください。

● 医師異動のお知らせ ●

7月31日付 退職

脳神経外科 うめづ まさなり
梅津 正成

今までありがとうございました



7月の 診療実績

1日あたりの患者数		
	入 院	359人
	外 来	1,112人
紹 介 率	83.0%	
逆 紹 介 率	100.6%	
病 床 利 用 率	71.7%	
平 均 在 院 日 数	8.7日	
手 術 件 数	458件	
救命救急センター受診者数	1,225人	
救 急 搬 送 件 数	398件	

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 中東遠 Q検索

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555

